

掛川市教育委員会定例会会議事録

教育委員会事務局

会議の名称	平成22年11月掛川市教育委員会定例会		
場 所	掛川市役所南館会議室		
開 催 日 時	平成22年11月25日（木）	午後 1 時30分から午後 4 時00分まで	
次回開催日	平成22年12月21日 （火）		
出席者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長 小野恵美子 松下一徳 平松季哲 山本和子 杉浦靖彦 深川喜春 学校総務課長 学校教育課長 幼児教育課長 社会教育課長 図書館長 調整室室長 調整室指導主事 調整室調整庶務係長 溝口 正 青野雅和 佐藤益男 大川原淳哲 綱取清貴 太田英之 小関昌典 小林昭子		
傍 聴 人	1 人		

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 10月教育委員会定例会会議録の承認について
- 3 11月教育委員会臨時会会議録の承認について
- 4 教育長の報告
(事務報告及び行事予定)
- 5 協議事項について
 - (1) 学校評議員の委嘱について
 - (2) 平成23年度全国学力・学習状況調査について
 - (3) 掛川市特別支援学級設置方針について(再協議)
 - (4) 平成23年度「富士山の日」を学校の休業日とする取組について
 - (5) 学齢超過生徒の就学願いについて
 - (6) 掛川市立園・小・中学校の入学(園)式・卒業(園)式のあり方について
 - (7) 教育センター移転に伴う教育相談対応について
 - (8) 平成23年度以降の教育研究論文について
 - (9) 「中東遠地区広域図書館業務提携書」の締結について
 - (10) 平成23年度教育委員会事務局当初予算編成について
- 6 報告事項について
 - (1) 特別支援学級の新設要望の結果について
 - (2) 不審者情報について
 - (3) 掛川市さかがわ幼稚園新園舎建設基本設計について
 - (4) 平成23年掛川市成人式について
 - (5) 「かけがわ図書館フェスティバル2010」実施状況報告について
 - (6) 平成22年12月掛川市議会定例会日程について
 - (7) 平成22年度「かけがわ教育の日」について
- 7 その他
 - (1) 次回定例会の日程等について
- 8 閉会

【議決事項】

1 学校評議員の委嘱について

学校教育課長

様式第1号・掛川市公立学校評議員推薦書に掲げる者について、学校教育法施行規則第49条並びに掛川市立小学校及び中学校の管理に関する規則第32条、掛川市公立学校評議員設置要綱により、掛川市公立学校評議員に委嘱する。

〈質疑・意見〉

なし。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

2 平成23年度全国学力・学習状況調査について

学校教育課長

掛川市内の全ての小・中学校は参加する。抽出調査対象となった小・中学校は、抽出調査に参加する。抽出対象外の小・中学校は、希望利用調査に参加し、抽出校と同じ条件で、調査を実施する。

〈質疑・意見〉

委員： 今までの結果は、どのように反映されているのか。

事務局： 教育委員会は、調査データに基づいて学習改善支援プランを作成し、各学校に提供した。また、調査に基づくリーフレットを調査を受けた子どもの保護者に配布し、インターネット上で公開した。

各学校は、それぞれの子どもの実情を把握し、その実情に応じた取組を検討してきた。

委員： 保護者がホームページを見るかどうか疑問である。先生方が苦勞して実施しても、ただ実施しただけで終わってしまうのではないか。全国で実施する必要性と、掛川市教育委員会独自の判断で実施しているのか。

事務局： 全国学力・学習状況調査で測れる学力は一部の学力なので過大評価し過ぎてはいけないと思う。しかし、国語と算数(数学)という基本的な教科なので、その中で子どもたちの状況がわかるし、生活調査等で子どもたちの実態がわかる。今後も支援プランを作成し、実態をふまえて学校に提言したり、各学校はそれを基に改善をはかっていく。国から言われたから実施するのではなく、確かな事実、具体的な結果データに基づいた施策が今後必要になってくるため。

委員： 県下一斉学力調査との違いと、両方実施する必要性は。

事務局： 県下一斉学力調査は、国・社・数・理・英5教科、全国は国・数2教科。主催者は県下は校長会、全国は文部科学省。全国の方が分析が深くされていて、子どもたちの生活や学習の実態、先生の指導の実態が明らかにされ、生活状況と学力との相関関係についてより深い調査ができる。

委員： 保護者の意見を調査しているか。

事務局： 全ての学校では調査していないが、実施して欲しいという意見があると聞いている。実施時期が学校にとって年度当初の多忙な時期なので、抽出校以外の学校の採点料は市が負担するなど、希望利用校の採点業務をなくす。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

3 掛川市特別支援学級設置方針について(再協議)

学校教育課長

静岡県教育委員会から「特別支援学級の設置に係る基本的な考え方について」(平成22年10月19日付通知)により、「拠点校化」の方針が示されたので、再度協議をお願いし、今後も継続的な審議をお願いする。

掛川市として、県の特別支援学級の設置に関わる基本方針を勘案し、これまでの掛川市の特別支援学級設置の経緯や子どもたちの状況、保護者・専門家の意見などを総合的に判断し、掛川市の特別支援学級設置に関わる基本方針を示す。

〈質疑・意見〉

委員： 前回の人づくり構想かけがわ推進本部会議の時に、市長から掛川市として理想的な形で提案するよう指示があり、今回その提案がされたということだが、そのことが来年度予算に組み入れられているか。

事務局： 学校サポーターを29人から35人に増員する等の予算要求はしている。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

4 平成23年度「富士山の日」を学校の休業日とする取組について

学校教育課長

掛川市教育委員会では、「気運の澎湃が全県に見えていない。」「休業日になった場合の子どもの受け皿や支援体制が見えていない。」「県のプロジェクトチームからの具体的な動きが提示され、小中学校の事実上の課題が解決されていない。」「全県の市町が同一步調で休日としていない。」「以上の理由から平成23年度「富士山の日」を学校の休業日としない。

〈質疑・意見〉

なし。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

5 学齢超過生徒の就学願いについて

学校教育課長

学齢超過の外国人生徒の中学3年生への編入希望について、外国人学齢超過生徒の編入方針に基づき、体験入学を許可する。

〈質疑・意見〉

委員： 体験入学だけで中学校は卒業できるのか。

事務局： 体験入学だけでは卒業できない。編入してから卒業の資格が得られる。今回は特異なケースなので体験入学前と後に審議をお願いする。

委員： 他の生徒に与える影響、先生への負担を考えると難しい問題だと思う。

事務局： 学齢児については規約により、義務教育はすべての者に権利を認めるとしている。学齢超過についても、できるだけ受け入れるよう要望がきている。ただ、市がどこまで対応できるかということを協議していただく。その他の学年も1学年上の年齢相当までという内規がある。それ以上の年齢まで広げてしまうと、学年は同一年齢集団で構成されているので、あまり年齢の離れた方を受け入れることはできないし、生徒指導上の問題もあるので1学年上の年齢相当までとした。

支援については、県に支援員を要請したり、NPOから派遣を依頼したりし、子ど

もたちとのコミュニケーションを図りながら、今までも進めてきた。

一度に入学を許可するのではなく、その子の適正や学びの意欲を充分把握した上で、体験入学前と後で判断している。

委員： 体験入学をして、入学を許可しない場合もあるのか。

事務局： 体験入学で、状況により断る場合もある。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

6 掛川市立園・小・中学校の入学(園)式・卒業(園)式のあり方について

学校教育課長

入学(園)式・卒業(園)式は学校・園教育活動の中で最も重要な行事の一つで、これまで、各学校・園では、地域に結びついた感動ある式を行なってきた。しかし、式が長時間に及ぶ点や、各校が共通理解して行なうべき点もあるという反省から、よりよい式となるよう見直しをした。

〈質疑・意見〉

委員： 卒業記念品は、市の予算から出ているのか。

事務局： その通り。1,000円～1,100円程度。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

7 教育センター移転に伴う教育相談対応について

学校教育課長

大東支所に教育センターが移転することに伴い、みどり教室（適応指導教室）も同じく移る。やむを得ない事情で教育センターに通所できない不登校生徒の緊急措置的な対応を可能とするため、北部に相談できる場所を置く。

〈質疑・意見〉

委員： 利用者が少なければやめてしまうのか。

事務局： この相談室はずっと続けるわけではなく、どの程度のニーズがあるか、一定期間開設して状況を見ながら進める。相談員1人が必要に応じて居ることになり、実態に応じて対応していきたい。

委員： 今年は相談者が居なくても、来年は居ることもあり得ると思う。その場合対応するのか。

事務局： あと1年で卒業する子など、現在必要としている子の対応のみである。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

8 平成23年度以降の教育研究論文について

学校教育課長

研究論文の発表機会、研修機会は他にも多くあり、また、子どもと向き合う時間が求められている今日、園・学校から離れて多数の教員や校長・園長、教頭等が一堂に集まる表彰式の実施は困難であるという点から、平成23年度以降の教育研究論文は実施しない。

〈質疑・意見〉

委員： 現在の状況は。

事務局： 学校からは、大変有意義で大切にしたいという要望は聞いている。しかし、学

校運営上その審査にかかる労力、またその他の機会も多くあるということで、終了することについてよしとするという意見であった。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

9 「中東遠地区広域図書館業務提携書」の締結について

図書館長

中東遠地区図書館連絡会（5市1町）において、図書館の広域連携による相互利用に向けて協議が行われ、中東遠地区における連携は、市民のにとって利用できる資料や図書館の幅が広がることから、「中東遠地区広域図書館業務提携書」を締結してよいか審議を依頼する。

〈質疑・意見〉

なし。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

10 平成23年度教育委員会事務局当初予算編成について

調整室長

平成23年度当初予算要求の総括について説明。

各課長

平成23年度主要事業・主な新規事業・完了事業について説明。

〈質疑・意見〉

委員： 学校施設の耐震化について、本体工事は平成24年度・平成25年度になるということか。

事務局： 本体工事までには、どのように補強するかという補強計画をたて、それに伴ってどの位の予算がかかるかという実施設計をし、本体工事ということになる。

委員： 平成25年度まで待っていて良いものか。太陽光発電施設より耐震化の方が先ではないか。

事務局： 太陽光発電施設は環境政策の一貫として導入し、国費が約92%、一般財源が8%程度となっている。

委員： 耐震化に補助金は出ないのか。

事務局： 耐震化工事については1/3の補助金、補強計画は1/2の補助金が出る。

委員： 耐震化をやらずになぜ太陽光発電か。命を守ることが優先ではないのか。できる限り耐震化を前倒しでやるべき。

委員： 優先順位ということと言うなら、今学校が必要としているのはALTだけでなく、学校サポーターも同じだと思う。学校の現場を見たときに明らかに学校サポーターが不足していると思う。

委員： 教育はもっと地方分権にして各市町で考えて行なえるようにならなくてはいけないと思う。補助金を頼りにするやり方は変えて、市長部局も教育委員会も将来のことを考え、20年後の掛川市を見据えた教育を考えて予算付けをしてくれないと取り返しの付かないことになるのではないかと。市の予算の中でも優先順位を付けていかななくてはいけないと思う。

委員： 図書館の貸出頻度、利用頻度のデータは出すことができるのか。

事務局： 図書館3館で54万冊の蔵書があり、貸出できない資料扱いのものもあり、貸出・利

用頻度を出すのは難しい。

委員： 貸出頻度、利用頻度を調べるということは、購入を控えるのが目的ではなく、利用頻度の高い本は冊数を増やしたり、ニーズを捉えた図書購入ができる。3館で情報を共有し、必要なときにすぐ取り寄せられるシステムを作っておけば、3館で1冊あれば良い本もある。そして、選書など職員の労力も軽減できるのではないか。

事務局： 3館での連携はできている。大須賀図書館は幼児向けの図書が充実している等、3館それぞれ特徴を持っている。

委員： 学校図書館司書が3人から6人に増員とあるが、どこの学校にもついているのか。

事務局： 概ね3校を分担して、ディスプレイをしたり、選書をしたり、それによって学校図書館が魅力あるものになっている。

委員： 幼稚園からカウンセラーの要望があった。保護者との接し方に悩んでいる先生が多いと聞く。

事務局： 最近は、子どもだけでなく親の指導が必要になってきている。子育て支援センター職員は、保育士経験者だがメンタルな部分の資格は無いので、福祉課・保健予防課と連携をとって調整をしている。カウンセラーを1人ずつ配置するのは、経費的に難しい。

委員： 予算が厳しい中で、中央図書館・美術館などの駐車場で収入を得られないか。

川崎市では公共施設の駐車場を駐車場管理会社と提携して有料化している。教育委員会だけではなく市全体で考えなければいけないことだが、休館日・夜間の駐車場の利用について検討してほしい。資源の有効活用をして、1冊でも本が購入できればと思う。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

【報告事項】

1 特別支援学級の新設要望の結果について

学校教育課長

原谷小学校知的学級、発達通級指導教室3学級(東山口小・原谷小・栄川中)について来年度は開設できない理由について報告。

2 不審者情報について

学校教育課長

各地区青少年健全育成会において協議された不審者対応について報告。

3 掛川市立さかがわ幼稚園新園舎建設基本設計について

幼児教育課長

さかがわ幼稚園園舎建設によって、北部8園化構想に基づく園舎建設は終了する。

さかがわ幼稚園新園舎建設工事は、大きく分けて、新園舎建設工事と現園舎解体・園庭整備工事の2つの工事になる。新園舎建設工事は平成23年度、現園舎解体・園庭整備工事は平成24年度に施行する計画。

〈質疑・意見〉

委員： 採光、風通しは大丈夫か。三笠幼稚園で、新しく機能的で良いが、風通しが悪いと

いうことを聞いたので、設計段階で充分考慮して欲しい。
事務局： さかがわ幼稚園は、園舎の南側、北側ともすべて開放することができるので光と風
どちらも充分取り込める。

4 平成23年掛川市成人式について

社会教育課長

成人式実施要綱について報告、教育委員の出席会場の確認。

平成23年1月9日(日)

10:00～12:00 掛川会場(生涯学習センター)、12:30～14:00 大東会場(文化会館シオーネ)、
14:00～15:30 大須賀会場(大須賀中央)。

5 「かがわ図書館フェスティバル2010」実施状況報告について

図書館長

3館の実施状況について報告。

6 平成22年度12月掛川市議会定例会日程について

調整室長

日程について報告。

7 平成22年度「かがわ教育の日」について

調整室指導主事

平成22年11月20日(土) 8:45～12:00 大須賀中央公民館、来場者500人。

テーマ「夢と希望がふくらむ かがわの子 ～市民活動から見る地域の教育力～」

オープニングアトラクション・開会行事・取組発表・講演。